

【工事概要】

発注者	北海道
設計・監理者	日本設計・ドーコン設計等共同体
建設地	札幌市中央区北2条西6丁目
施工者	(1工区)大成・伊藤・宮坂JV (2工区)岩田地崎・岩倉・田中JV
工期	2018年3月30日～2020年1月31日(22ヶ月)
構造・階数	鉄骨造 地下1階、地上6階、塔屋1階
延床面積	19,160.25 m ² (1・2工区計) 建築面積 3,212.38 m ² (1・2工区計)
用途	庁舎

【概要説明】

2018年12月11日(火)、参加者24名による現場見学会を開催しました。北海道議会庁舎の老朽化に伴い改築する工事です。

2017年8月実施の「札幌大病院工事」見学会でお世話になった大成建設の三崎所長が今回も現場責任者で、概要説明をしていただきました。

赤れんが庁舎など周辺環境との調和を図った設計・デザインになっているとの事です。

構造では地下1階柱頭部に免震装置を設置する工法で、道内では珍しい工法となっています。

また施工図は、BIMを使用し、海外(フィリピン)で実際に作図をしているとの事、議場の鉄骨～設備の取合いや足場の情報など、パソコン上でディテールが一目で確認・検討できる図面データになっていました。

今回も『北海道情報公開条例の規定による開示資料』から、工事費の構成比率や単位面積あたりの単価を分析した資料を配付しました。

【現場見学】

現場は地下躯体工事の真っ最中。

見学は構台栈橋上からでなく、地下1階柱頭免震レベルまで降り、間近で免震取合い部を見学することができました。

免震装置の施工精度には大変苦勞されているとの事、また安全や技術提案・創意工夫に対する取組みは非常に参考になりました。

夕暮れの時間帯で、降雪もあり、北国の現場の苦勞を直接感じる見学会でした。

【積女 ASSAL 北海道】

今回は「積女 ASSAL 北海道」としての見学会活動も兼ねており、7名の参加がありました。



【懇親会】

見学を終えた後、場所を変え、参加者同士の情報交換や交流を深めました。